

目次

Contents

1 | 特集 |

特定健康診査・ 特定保健指導

6 千葉県インフォメーション

健康県ちば宣言プロジェクトが 始動しました!

10 千葉県医師会

私の健康宣言

鈴木 一郎(副会長)
篠宮 正樹(理事)
海村 孝子(理事)
吉岡 英征(理事)

12 どうしているの?

スポーツチームの健康管理

千葉ロッテマリーンズの巻

14 知っておくと得する 「医療・保健」ガイド

血液検査

16 健康食材 寒天 春メニュー「牛乳かん」

| 健康情報 |

17 こころのカルテ

五月病かな?と思ったら…

18 健康ひろば千葉

市民が育てる医療体制
地域の救急医療を守るために

麻しん(はしか)・風しんを予防しましょう!!

20 スポーツ・コーナー

運動をする場合に注意したい12か条

21 インフォメーション

愛読者プレゼント

「健康県ちば宣言」に思う

千葉県医師会会長

藤森宗徳

4月1日から、「特定健康診査・特定保健指導」と「後期高齢者(長寿)医療制度」という、国の新しい医療制度がスタートしました。いずれの制度も国の説明不足・準備不足が指摘され、実施する自治体も混乱気味で、県民の皆様の不安・不満をおおる結果になっていることを憂慮しています。

国の医療体制がこのように大きく変化しているのは、もっぱら財政上の理由からです。ここ数年来、財務省は高齢化社会の進展とともに増え続ける医療費を抑制しようと、さまざまな方策をめぐらしてきました。その根底にあるのは「国は財政難なので、これ以上は面倒を見られない。これからは一人ひとりの自己責任ということにしよう」という思想です。

極言すると、「病氣も自己責任」ということになります。それでは、あまりにも理不尽です。しかし、すでに新しい医療制度がスタートしている以上、愚痴を言うばかりでは仕方ありません。

千葉県はこの2月に、「健康県ちば宣言プロジェクト」を立ち上げました。これは、県民一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組み、県民が主役になって「日本一の健康県」を創り上げようという長期構想です。政府が国民に対して「病氣も自己責任」と理不尽な押し付けをしている以上、私達は「自分の健康は、自分で守る」という思想を、さらに深めていかなければなりません。そのために、まず県民の皆様に自発的に「健康宣言」をしていただき、行政や関係機関がそれを支援しながら「健康づくり」に「医療」と「福祉」を連動させる体制づくりが検討されています。千葉県医師会としても、このプロジェクトに積極的に協力してまいります。

県民の皆様の「健康県ちば宣言」へのご理解を、心から願ってやみません。